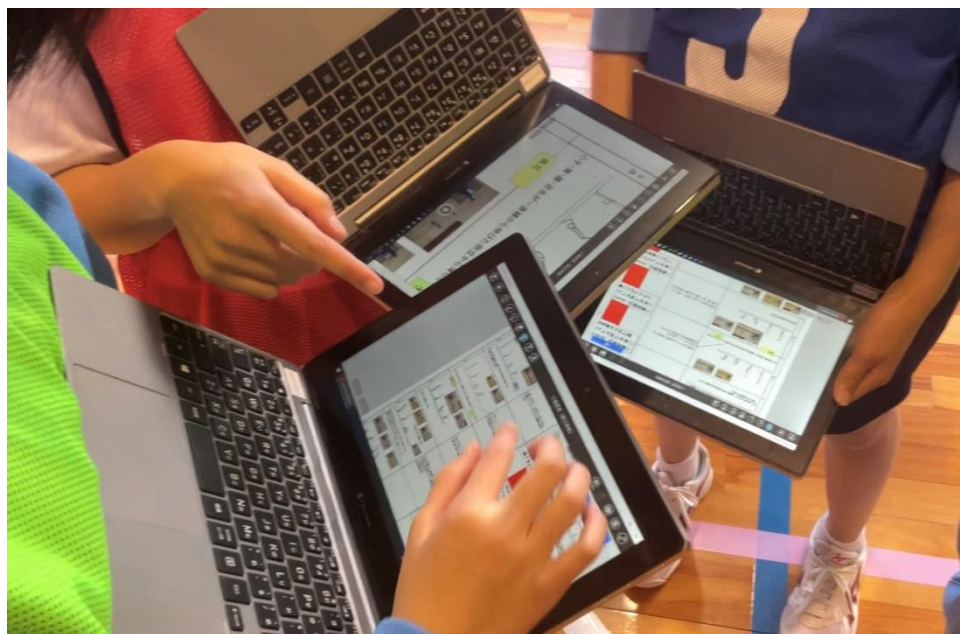


協働学習支援ツールの活用

第 1 学年

単元名:「マット運動」(倒立前転)

デジタル段階表をもとに、自分の動きを評価している様子



活用の仕方

【全体計画会】

・ 目指す姿や追求の視点を示す際に活用。

【グループ計画会】

・ 自分の課題点をつかみ、目指す姿を具体的にもつ際に活用。

【練習】

・ 自分が試技した動画と段階表の中にある目指す動きを比べて見る際に活用。

・ 段階表内に課題に合わせて示してある練習方法を確認し、練習をする際に活用。

【グループ反省会】

・ 自分の動きを段階表に照らし合わせ、評価する際に活用。

教師の指導のポイント

- 段階を絵や言葉だけで示すのではなく、動画も入れて示してあることで、自分がどの段階にいるのかが分かりやすく、自己評価し、次の課題がもちやすい。
- 目指す動きの動画と自分の動きを比較し、い動きを求めて試行錯誤する際の1つのツールとなる。
- 課題(段階)に合わせて、どんな練習をするとよいのかまで、動画で示しているのので、自分の課題に合わせて、練習方法を選択したり、練習の仕方を確認したりすることができる。
- 自分が見つけたコツが入力できるようになっているので、学んだことが蓄積されていく。

